

アメリカの中学生の 日常あいさつ言葉について

近 藤 富 英

1. はじめに

コミュニケーションの基本は、何かを共有することであると考えられるが、その「何か」とは、情報であったり感情であったりするであろう。「あいさつ」はとくに感情の共有であり、相手と向き合うという意味で、コミュニケーションでは大切な役割を果たしている。ある意味で情報の共有よりも難しく、それだけ大切な行動である。とくに新情報の交換はなくても、交感的機能 (phatic expression) として日常生活では欠かせないものである。

したがって、当然、どの文化にもあいさつの習慣とあいさつ言葉が存在するが、そのヴァリエーションや使用頻度、相手がだれであるか、などには違いがあるはずである。本稿では、アメリカの中学生に行ったあいさつに関するアンケートの一部を紹介・分析することにより、英語での日常的なあいさつについて考察する。

2. アンケートについて

たとえば、「おはよう」は、辞書的には Good morning. であるが、はたしてアメリカの中学生の朝のあいさつのその頻度と使われ方の種類は、どのようなものでしょうか。なお、日本語の「おはよう」は肉親に使うが、「おはようございます」はまず肉親には使用できない。英語の Good morning. はそんな使い分けはしていないので、英語は身内かどうかで使用を変えるのではなく

て、むしろ場面や心理状態などでヴァリエーションを使っていると言えそうである。本稿では、アメリカの中学生に行ったアンケートの中から、(1) おはよう、(2) いただきます、(3) ごちそうさま、(4) 行ってまいります、(5) ただいま、(6) お店に入るときに何か言うかどうか、(7) お店からでるときに何かいうかどうか、の7項目を取り上げて、その報告と考察を行う。アンケートの対象の人数はアメリカの中学生の7年生(12~13才)の44人、そのうち男子が13人、女子が31人であり、すべて英語を母語として使用している。アンケートの実施時期は1997年、場所はミシガン州イースト・ランシング市の East Lansing Middle School である。

なお、種々の項目についてアンケートを行っているが、本稿で取り上げたのは、上記の7項目であり、実際には以下のような問いで、実際の行動を尋ねた。

(1) おはよう

When you get up in the morning, do you say hello to your parent(s), your brother(s) or sister(s)? If "yes," what do you say?

(2) いただきます

Before you start eating your breakfast, do you have your favorite expression(s) to say, or do you say nothing?

(3) ごちそうさま

After you finish eating your breakfast, do you have favorite expression(s) to say, or do you say nothing?

(4) いってまいります

When you leave your house for school in the morning, do you have your fixed expression(s) to say to your parents?

(5) ただいま

When you come home from school, do you say hello to your parent(s)? If "yes," what do you say?

(6) お店に入るとき何か言うかどうか

Do you say hello to a clerk at a shop when you enter a store? If "yes," what do you say?

(7) お店から出るときに何か言うかどうか

Do you say anything to a clerk at a shop when you get out of a store? If "yes," what do you say?

3. 結果と考察

44人にアンケートを行ったが、空欄があった場合は44人より少ない合計数になっている項目がある。なお、以下の項目で、()の中の数字は人数を表している。

3. 1 「おはよう」について

アンケートの結果は以下の通りである。

男子：

- Good morning. (4)
- Morning. (1)
- Good morning, mom. (1)
- Hi. (1)
- Hi, mom. Hi dad. (1)
- Hello. (2)
- Hello, mom. (1)
-
- Say nothing. (2)

女子：

- Good morning! (6)
 - Good morning, mom! Get up! (to my brother) (1)
 - Hi! (8)
 - Hello. (1)
 - Hi, mom, hi dad. (2)
 - Hi, mommy. (1)
 - Hi, what is for breakfast? (1)
 - When my mom wakes me up I just grumble, but when I'm more awake and dressed I say "Hi." (1)
 - Hi! Good morning. (2)
-
- Say nothing. (8)

44人のうち、あいさつをすると答えた人は34人（77.3%）であり、morning を含んだあいさつ（=Morning タイプ、Morning, Good morning, Good morning, mom など）と、Hi を含んだあいさつ（=Hi タイプ、hello も含む）の二つに大きく分けることができる。男子は、Morning タイプが6人、Hi タイプが5人で、ほぼ同じであるが、全体としては34例中、Morning タイプは13、Hi タイプは19で、Morning を使わないタイプがやや多いようである。ただし、なお、Hi! Good morning. と答えた女子が2人いる。印象としては、女子は Hi タイプをやや好むようであるが、全体としてはどちらのタイプもほぼ同じように用いられていると考えて良さそうである。なお、mom（あるいは mommy）や dad を最後に付けている例が6例あり、いわゆる親族用語や名前を付加することが多いのは英語の特徴である。

3. 2 「いただきます」について

アンケートの結果は以下の通りである。

男子：

- What are we going to eat for breakfast? (1)
-

- Say nothing. (12)

女子：

- Thank you. (1)
 - Thanks. (1)
 - I thank my mom, for fixing it. (1)
 - I love ya, mom! (1)
 - What is there to eat? (1)
 - I'm tired. (1)
 - I come to the table and say hi and we start to talk. (1)
 - Can I have toast? Can I have a ride to school today? (1)
 - How was your sleep? (1)
-

- Say nothing. (20)

日本語では「いただきます」という定型のあいさつがあるが、今までもアメリカではとくに決まった言い方は無いと言われてきた。合計42人のうち、じつは「何も言わない」という答えが男子と女子を合わせて32人（76.2%）であった。「何か言う」と答えた10人の答えはやはりさまざまであり、女子ではThanks. など感謝に関するものが3人いたが、あとは食事の内容について述べたりするだけで、やはりとくに決まった言い方は無いようである。76.2%が

「何も言わない」ということであつたが、おそらく突然に黙つて食べ始めるのではなくて、決まつた言い方がないのでそのような答えが多かつたと思われる。

3. 3 「ごちそうさま」について

アンケートの結果は以下の通りである。

男子：

- That was a good meal. (1)
- It's very good. (Delicious), Try to vomit. (Not delicious) (1)
- I have to get ready to school. (1)
- May I be excused from the table, please? (1)

- Say nothing. (10)

女子：

- That was a good. (1)
- That was a good food, and now my stomach hurts. (1)
- Thanks. (1)
- I'm still hungry. (2)
- I'll be right back! (1)
- Have a good day. (1)
- Come on, dog. It's time for you to go out. (1)

- Say nothing. (22)
- I put my plate by the sink and my mom tells me to brush my teeth. (1)

食事のあとの「ごちそうさま」に関しては、「いただきます」とほぼ同様に44人のうち男子と女子を合わせて33人(75.0%)が「何も言わない」と答えている。食事について「おいしかった」(That was a good meal.)などのように答えているのは、男子2人と女子2人の計4人いるほか、女子ではThanks. と感謝の言葉を述べるという答えがひとつあった。あとは、May I be excused from the table, please. (ひとりの男子)など、日常の会話に移行して食事が終わるようである。これも「いただきます」と同じように、決まった言い方をしなくてもいいので、とくに意識はしていないことがうかがわれる。

3. 4 「いってまいります」について

アンケートの結果は以下の通りである。

男子：

- Bye. (3)
- Good by. (1)
- Good bye, mom, have a good day. (1)
- Good day! (1)
- Bye, I'll see you when I get home from school. I love you.
(1)
- Have a nice day! (1)
- I have to get ready for school. (1)
- Wait up! (1)
-
- Say nothing. (3)

女子：

- Bye. (3)
 - Bye dad, mom. (1)
 - Bye, mom and dad. (2)
 - Bye, see ya. (1)
 - Bye, see you later. (1)
 - Bye (or See you later.) (1)
 - Bye, mom See you later. (1)
 - Bye, I'm going now! (1)
 - Bye, mom! Have a Great Day, see ya later! (1)
 - Bye, wish me luck. Good luck to you, Love you. (1)
 - Bye, pick me up at swim practice. (1)
 - Bye, I love you. (2)
 - Bye, mom, I love you. (1)
 - C'ya. (1)
 - See you after school, I love you. (1)
 - Have a good day. (1)
 - I love you! I'll be back after school! Be careful! (1)
 - Thanks. (in response to "Have a good day at school!") (1)
-
- Say nothing. (4)

家を離れるときの「行ってまいります」については、44人のうち男子と女子を合わせて37人 (84.1%) が、「何か言う」と答えている。ただし、Bye を単独でいう場合や Bye を含んだ言い回し (Good bye. や Bye, I'm going. など) は、全部で28人 (63.6%) であった。あとは、See you. や Have a nice day!、I'm going now. などであったり、あるいはこれらを Bye と組み合わせ

せたりしている。日本語の「いってまいります」のような定型はないものの、ある程度、種類は限られていることがわかる。なお、mom や dad を付加したり、女子のひとりが Bye, I love you. と答えているが、これらは親愛の情を出して非常に英語的であろう。

3. 5 「ただいま」について

アンケートの結果は以下の通りである。

男子：

- ・ Hi. (4)
- ・ Hi, Mom. (1)
- ・ Hi, dad. (1)
- ・ Hey, mom! (2)
- ・ I'm home. (1)
- ・ I'm home, mom, how was your day? (1)
- ・ Hello, how was your day? (1)
- ・ Hello, Mother, how was your day? (1)
-
- ・ Say nothing. (3)

女子：

- ・ Hi. (4)
- ・ Hi. / Hello. (1)
- ・ Hi, mom. (3)
- ・ Hi, dad/mom. (3)
- ・ Hello, mom/dad. (Good afternoon.) (1)
- ・ Hi! How was your day? (1)

- I'm home! (2)
 - Hi, I'm home! (3)
 - Hi! I'm home. How are you? (1)
 - Hi, how was your day at work? (1)
 - Hey, what did you do at work? (1)
 - Hi, mom, how was your day? What's new? (1)
 - Hi, what happened at work? What did you do? (1)
 - Hi, mom. How was your day? (1)
 - Hi! Don't ask, I have/don't have homework. (1)
 - I tell my mom how much homework I have, and how my day went. (1)
 - No one is one is home at my house, I'm, usually just call my mom at her work. (1)
-
- Say nothing. (3)

帰宅したときの「ただいま」であるが、合計42人のうち、男子と女子を合わせて39人 (92.9%) が、「何か言う」と答えている。Hi を単独で用いたり、親族呼称の mom や I'm home. などを付け加えることが多いようである。子供のほうから親に How was your day? と尋ねる男子や女子もいて、日本とは異なるようだ。男子と女子を合わせて33人 (78.6%) が Hi や Hey、Hello やこれらで始まるあいさつをしていることがわかる。とくに Hi は非常に多く使われていることがわかる。英語では親も子供も互いに同じような言葉を使っている文化だと考えられる。

3. 6 「お店にはいるとき何かいうかどうか」について

アンケートの結果は以下の通りである。

男子：

- Hi. (1)
- Hello. (2)
- Hey. (1)
- Hi, how are you doing?. (1)
- Hello, how are you? (1)
- No, I'm just looking. (1)
-
- Say nothing. (4)
- Usually no. When I'm in a very good mood, I say "Hi!" (1)
- Not unless they say "Hello" to me. (1)

女子：

- Hi! (7)
- Hello. (4)
- Hello or Hi (2)
- Hi! Yes, I was looking for a _____.(1)
- Hi, no, that's okay. (1)
-
- Say nothing. (12)
- Hi. (If they talk to me.) (1)
- Hi, Hey, Hello. (If they say 'hi' first.) (1)
- I only say 'hi' if they say 'hi' to me. (1)
- Fine. How are you? (1)

今まではすべて肉親に対してのあいさつであったが、外出して店に入る
ときのあいさつについてである。コンビニエンス・ストアなどを想定している
が、日本ではお客は黙ってお店に入るのが普通であるが、アンケートの結果で
は、男子と女子を合わせて44名のうち、ちょうど半数の22名（50.0%）が言
葉をかけながらお店に入ると答えている。男子は13名中7名、女子は31名中
15名なので、どちらの割合もほぼ同じである。「何も言わない」と答えた女子
の中で相手（店員）があいさつをすれば、Hi などと応じるという子が4人
（Fine. How are you? と答えた子を含めて）いる。ここからわかるのは、ア
メリカでは店員から声掛けすることも多く、実際に筆者の経験からもそうで
あり、アメリカではコンビニエンス・ストアやスーパーのレジでも気軽にあいさ
つをしている光景がよく見受けられる。

3. 7 「お店から出るときに何かいうかどうか」について

アンケートの結果は以下の通りである。

男子：

- Bye. (4)
- Yeah, you, too. (1)
- Thanks, you, too. (1)

• Say nothing. (6)

女子：

- Bye. (5)
- Bye, thank you. (1)
- Bye, thanks for your help. (1)
- Good bye. I'll see you again. (1)

- Thanks. (1)
 - Thank you. (1)
 - Thank you, you, too. (1)
 - Thank you for your help. (1)
 - If I buy something, I say, "Thank you." (1)
 - Have a nice day. (1)
 - You, too. (2)
 - You are welcome. (1)
-
- Say nothing. (14)

今度はお店から出るときはどうするかということであるが、合計数43名のうち男子と女子を合わせて23名 (53.5%) が、何らかのあいさつをしている。前項のお店に入るときはちょうど50%があいさつをしていたが、やはり出るときも半数以上はあいさつをしていることになる。ただ、今回は店を出るときに自分から進んであいさつをするか、店員のあいさつに呼応して応えているのかはやや不明確であった。実際、英米では店員も積極的にあいさつをすることは知られているので、答えの中には You, too. などというものもみられたが、これはお客が店を出るときに、店員が Have a nice day. などと言ったものに呼応したものである。何を言うかであるが、Bye に関連したものと Thank you に関連したものがある。Thank you に関連したものは Have a nice day. などに対して言っているものと、Thanks for your help. などのように、Have a nice day. などに対応はしているであろうが、help に対してお礼を述べているものがある。このように英米ではお客も Thank you. ということが多々あり、原則的には売り手とお客は対等と考えられているようだ。

4. まとめ

よく言われているように、アメリカでは、「おはよう」や「いただきます」など、あいさつの決まり文句は少なかった。決まり文句は便利であるが、儀礼的な側面があるので、親しみを出すことが文化的な装い方として大切なアメリカでは、食事や外出時の決まり文句は発達しなかったようだ。その代わりにその場に応じた言葉がさまざまに用いられる。あいさつの端々に名前や Mr などのタイトルが付けられるのも親しみを表す方策なのであろう。その根底にあるのは、相手を重んじるためには、自己と他者が「対等」であろうと考える基本概念である。相手と「対等」ならば、「親しみ」を表すことが大切になり、その親しみを表すためには「名前やタイトル」を使用したり、決まり文句を回避することが大切になってきたと思われる。もちろん、日本でも相手を重んじるのはコミュニケーションの根底にあるが、そのためには「対等」よりは、相手を上に置くほうが良いと考えた。その結果、儀礼に則った決まり文句や敬語が発達したわけである。日本もアメリカも相手を重んじたいという心は同じでも、その表し方が異なるということである。アメリカの日常のあいさつ言葉はそのような側面を垣間見させてくれる。